



志賀町

議会だより

第5号

〒925-0198

石川県羽咋郡志賀町末吉千古1番地1

TEL (0767)32-1111

FAX (0767)32-3933

発行 志賀町議会

編集 議会広報特別委員会

平成 18年 11月 1日 発行

魅力ある学校づくりを目指して



統合中学校
備品購入費を計上

9月定例会

ページ

・2

常任委員会 レポート …… 4

町政を問う! いっぱん質問 …… 6

私たちの議会傍聴記(高浜中3年) …… 12

富来高校3年 国際コースの皆さん

(昨年12月の海外研修:シドニー)

町内の高校存続を願う議論が議会でも展開されました。

富来高校では国際的視野と国際感覚を身につけるため海外研修など特色あるカリキュラムに力をいれ、魅力ある学校づくりに取り組んでいます。

高校存続は地域全体の願いです。

* 議会へのご意見、議会だよりのご感想をお寄せ下さい (E-メール: gikai@town.shika.lg.jp)

* 町と議会の情報は「志賀町ホームページ」でご確認下さい (<http://www.town.shika.lg.jp>)

次代を担う子ども達のために

総合中学校の備品購入費9千500万円を計上
 出産一時金の額を35万円に引き上げ(国保条例改正)



来春の中学校統合により最後となる高浜中体育祭

9月定例会では、農業集落排水事業大笹地区処理施設の機械設備工事請負契約や、平成18年度一般会計補正予算など議案15件、認定11件、同意1件を審議し、継続審査とした平成17年度の各会計決算11件の認定案件を除く案件をそれぞれ全会一致で可決しました。

契約

◇農業集落排水事業(大笹地区)処理施設機械設備工事
 6千300万円、
 アムズ㈱。

補正予算

◇一般会計
 7億315万円追加、
 総額15億845万円。
 財政調整基金積立金、
 特別財政積立金、漁港整

介護保険会計

6千457万円追加、
 総額24億2千890万円。
 システム改修、平成17年度国庫支出金等の精算返戻金等の追加。

富来病院会計

720万円追加、
 総額8千875万円。
 常勤医師2人の配置によるもの。

老人保健会計

1千296万円追加、

◇農業集落排水会計
 424万円追加、
 総額7億475万円。
 館開地区の新規事業要求、概要書作成等によるもの。

公共下水道会計

727万円追加、
 総額13億8千442万円。
 事業推進のため、増額するもの。

条例改正

◇町特別職非常勤職員報酬及び費用弁償条例
 障害者自立支援法の規定により設置する障害程度区分認定審査会の委員報酬を定める。

◇国民健康保険条例
 一定の所得を有する70歳以上の人の一部負担金の割合を2割から3割に、出産一時金の額を30万円から35万円に引き上げる。

◇消防団設置条例
 消防組織法の改正による。

◇工場設置奨励条例
 対象となる要件の緩和(以上4件・全員賛成)

規約・計画変更

◇志賀町村消防団員公務災害補償等組合規約
 消防組織法の改正による。

◇過疎地域自立促進計画
 町道改良事業に3路線追加。(以上2件・全員賛成)



町道改良事業に追加となった鹿頭酒見線



出産一時金の額が30万円から35万円に引き上げられた



梅雨前線豪雨により被災し公共土木施設災害復旧事業で復旧される準用河川七海川

教育委員に

穴田 實氏を再任



任期満了となる教育委員会委員に穴田實氏(牛ヶ首)を再任することに同意しました。

人権擁護委員に

金谷由紀枝さん
 藤井 道代さんを推薦



金谷 由紀枝さん



藤井 道代さん

任期満了となる人権擁護委員に金谷由紀枝さん(高浜町)、藤井道代さん(酒見入樋)を推薦しました。

総務

議会の3つの常任委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。主な審議内容等を報告します。

地方交付税次年度以降の見通しは

問 地方交付税の次年度以降の見通しはどうか。合併後10年間保証するといつ甘い話もあったと思うが。

答 国の施策によって大きく変わるもので、三位一体改革等により今後厳しくなってくるだろうと思うし、減少するのは間違いない。

合併後10年間の保証については、合併した年度の金額を保証するのではなく、基準に沿って積算したものは保証するということであり、人口減少や国が示す基準単価が下がってくると、当然下がることになる。

問 合併特例債はなかなか使いきれないと言っているが、現在どういものに利用しているのか。

答 当初、起債項目に上がってれば全て対象と考えていたが、合併することによって必要となる事業が原則になっている。まちづくり事業計画に該当する項目、76億円にあたる。



合併特例債を利用し整備される町道印内線

教育民生

小学校再編でもう1校はどうか

問 志賀地域の小学校7校を2校に再編するという検討委員会の答申がある。高浜小を統合の1校とすると、もう1校は志賀中跡地なのか。

答 旧の中学校区を基本にするという答申があり、これを尊重するならば、志賀中の辺りになると思



来年度も希望者が増えることが予想される学童保育（児童館）

休止後の堀松保育園の利活用は

問 来年、堀松保育園が休止になるが休止後の利活用はどうなるのか。

答 有効活用しなくてはいけないと考えている。学童保育で児童館が満杯になっており、来年度から学童保育の希望者が増えることが予想され、学童保育の施設として利用したほうがいいのかと考えている。担当課に状況を把握するよう指示している。

定住促進住宅造成事業の基本計画は

産業建設

問 定住促進住宅造成事業の基本計画は、どの程度進んでいるのか。

答 米浜地内に町有地が30ha余りあるが、その内約15haを2工区造成し、100坪位の宅地を約110戸とその他に志賀消防署の用地を計画している。コンサルタント5社で基本設計のコンペをして一番い

問 どのような条件、内容で定住促進を進めるのか、基本的考えは。

答 旧志賀町に40区画程の住宅団地づくりを進めていたが、財政状況等により凍結していた。発想の原点は町の生きる道は企業誘致に尽きるということである。企業誘致の際、人材確保が一番心配であり、Uターン等を含め、安い値段で魅力ある住宅地にしてまちづくりをしたいと思っている。具体的な条件は決まってい

第1回（8月7日）

臨時会

第1回臨時会では、工事請負契約の締結に係る議案1件と学校給食共同調理場条例改正案の計2件が審議され、いずれも全会一致で可決しました。

◇赤崎漁港海岸災害復旧工事

5千796万円、寺井建設㈱。

◇学校給食共同調理場条例の改正

老朽化している富来共同調理場を廃止し、9月1日から調理場を1箇所とするもの。



冬季風浪により被災した赤崎漁港消波堤

議員の一言コーナー

飲酒運転厳罰化

福岡市職員による飲酒運転幼児3人死亡事故以来、各所で飲酒運転が話題になっていく。にもかかわらず、巡査部長、教育長、自衛官、バス運転手と連日の飲酒運転関連のニュースが報じられ留まる様子がない。警察庁発表の今年度全

国飲酒運転取締り強化週間の摘発件数4千383、逮捕者14人という数字は、飲酒運転が大問題になっているこの時期にと考えると、いかにドライバーの意識が甘いかを浮き彫りにしてみせ、情けないと言っほかはない。

昔から日本人は一概に酒飲みにおおらかな対応をしてきた。少々の無礼や暴言も酒の席では許し合ってきた。

だが、成熟した社会に生きる現代の日本人はもうそういった飲酒習慣を卒業しなければならぬ。命に関わる違法行為である飲酒運転などもつての外である。

この度の当町職員の飲酒運転厳罰化決定は、職員を引き締め、町民の模範となるものと期待する。

（松島 信夫）



平成20年度に着手予定の定住促進住宅予定地(米浜地内)



体験入学の中学生にコンピュータ製図の操作を教える高浜高校生

地域事情を勘案して 高校存続を図れ

堂下 健一 議員

問 高校の第2次再編が迫り、県の教育委員会は来年9月に統廃合する高校を発表している。町として、地域事情を十分勘案して高校の存続を図っていくべきではないか。



答 減少傾向にある生徒数の推移、身近な地域の中での高校選択肢の確保、町としての活力の維持、通学を始めとする教育環境等を鑑みて、町に最低1校、高校が必要であると考えている。

町民に非核平和の 取り組みのアービ ルを

問 町は非核宣言自治体協議会に参加しているが、もっと町民に具体的に非核平和の取り組みをアピールしていくべきではないか。
また、この事業ほど町民との協同事業とするにふさわしいものはないのではないか。

防災訓練の装備の ばらつきはきちんと 対処を

問 高浜市街地の住民が防災訓練に参加したことは、原発防災の意識づけという点からよかったと思う。
だが、装備については、避難所や避難誘導する職員に装備のばらつきがありきちんと対処してもらいたい。

答 映画会、被ばくの写真展、戦争の体験談等は、今までも、学校教育及び生涯学習活動の中で、一部取り組んでいるし、今後とも引き続き取り組んでいく。

町には最低1校、 高校が必要

【答弁：細川町長】

学校教育、生涯学習 活動の中で一部取り 組んでいる

【答弁：細川町長】

万全の体制に もっていききたい

【答弁：細川町長】

これは極力被ばくを避けるという意味で大変重要なことである。
また、事故時には防災服やポケット線量計は人数分だけ整備されているのか。

答 役場職員、消防団等の人数は現在800人弱いる。タイベックスーツ、ポケット線量計のセット数は190組ある。
原子力災害時において災害の度合いにより動員する人数は異なるので、装備の多少は判断できかねる。

問 職員等の人数からすれば、ポケット線量計190ではかなり不足しているのではないか。

答 できるだけ装備は揃えて万全の体制に持っていきたい。



2組 田口 日花利さん

高浜高校と富来高校の再編のこと、防災訓練の内容など身近なことも話し合われていた。より豊かで住みやすい町にしていくため、話し合いをし、いろいろなことを決めることの大切さと難しさを学んだ。



2組 池水 隆善君

非核平和宣言のことが一番印象に残っている。核兵器や平和について、町議会ですとは思っていたので驚いた。小さな町からでもしっかりと考えていかなければならないことだと思った。



1組 柴田 翔平君

志賀町は最近、非核平和宣言自治体になったようだ。防災訓練では従事者が被ばくしないための装備の改善点も挙げられていた。町を良くするには僕たち町民が無関心ではいけないと思った。

議会を傍聴した高浜中3年生の意見

町政を問う！

いっぱい

質問

5 議員が登壇

9月定例会の一般質問は、9月8日に行われ、5人の議員が町政の当面する課題について考えをいただきました。その主な質問・答弁の要旨を掲載します。



〈一般質問の会議録を全文公開〉

志賀町ホームページ内の議会情報コーナーでは、本会議の内容を記録した「会議録」を全文公開しています。もっと、詳しく内容を知りたい方は、下記アドレスにアクセスした後、議会情報から閲覧できます。ぜひ、ご覧になってください。

HPアドレス
<http://www.town.shika.lg.jp>



2組 山本 真央さん

私たち町民が快適で住みよくなるように、一生懸命考えてくれているのだと思ううれしくなった。快適で住みよい町になるように私たちにできることがあったら実行していきたいと思った。



2組 池田 國明君

議会傍聴は初めての体験で以前からどんなものなのかとても気になっていた。物事には順序があり、僕が生まれる前から議員さんが議論し、町の将来を決めてきたんだなあと感じた。



1組 木村 友里恵さん

私が持つ議会のイメージはすごく硬くてつまらないというものだった。でも今日の議会を見て、私たちのことをしっかり考えていることが分かり、議会のイメージはガラッと変わった。

議会を傍聴した高浜中3年生の意見



未来を担う子ども達のために(町児童館)

乳幼児・児童医療費助成の自己負担をなくせ

橘 照茂 議員

問 子育て支援を前面に出すなら、乳幼児・児童医療費助成について、月当たり一人の子どもに対する自己負担500円もゼロにしているのではないかと考えているのか聞きたい。



答 保育費の支援体制、チャイルドシートの助成事業等、他の自治体と比べてかなり優遇されていると思うが、広報体制が充実していないためか、町民には実感がない。益々低下する出生率、高齢化比率の増加、そして、若年層の減少を考えた施策とPR方法も含めて、今後、これらの問題にどのように対処して行く考えているのか聞きたい。

今後廃止の方向で検討したい

【答弁：細川町長】

答 乳幼児・児童医療費助成の一人の子どもに対して月500円の自己負担については、行政としては受益者負担の原則に立って負担してもらっているが、今後、時期的なこと

企業誘致に対する考え、今後の取り組みは

問 少子化と若者の減少率はかなり顕著な状態となっており、この状況を少しでも打破するための最大の政策は企業誘致しかない。

答 今後は企業誘致と共に企業の求める人材の確保のためのU・ターン対策、そして企業で働く人が希望するならば、提供できる求めやすい住宅対策などを進めて行きたい。

効果的な企業誘致を進めたい

【答弁：細川町長】

文武両道の新設高校建設を目指して、県への働きかけを始めよ

萬上 俊之 議員



関心のある中学生が見学に来た高浜高校学校公開



問 町に必ず1つの高校を存続させることを大前提に提言したい。存続させる高校は現在の2校を統合して新設する形とし、当面現行の2校の校舎を利用する。国際コース、機械システム科など特色を生かして連携を深める。希望のコースによっては、通学費

補助など町にもできる最大限の支援をする。統合方針が決定次第、部活も合同チームで大会に参加し、一体感の醸成を図ることに配慮する。近い将来新校舎を建設し、極力、町の中央部を基本としながら、既設の町営施設である野球場・総合体育館あるいは陸上競技場などの利用、また廃校となった施設利用についても配慮する。新設の高校名は、児童生徒を含む町民公募により新しい高校名を決定することを基本とする。

用地的な提供、現在の高校を買い取るなど考えてみたい

【答弁：細川町長】

答 提言にあった町内2校を1校に統合する、高校を新設するというよう

飲酒事故に関して、懲罰制度の内容と見直しの可否を問う

問 町では、懲罰にはどんな規定あるいは条例が設けられているのか。犯罪等で逮捕された場合、飲酒運転による事故、事故が無くても検挙された場合はどうか。

答 町では職員懲戒の手続き及び効果に関する条例が設置されているが、細かい懲戒処分規定等はない。国の懲戒処分の指針に準じて対応している。犯罪による逮捕の場合は、地方公務員法に基づいて刑の確定をもって失職となる。また、飲酒運転をした職員については、免職、停職又は減給の処分となる。

国の懲戒処分の指針に準じて対応している

【答弁：田端総務課長】

今の社会情勢と照らして妥当な規定・処分か、改定の必要が無いのか考えを問う。

議会を傍聴した高浜中3年生の意見

2組 畑 絢馨さん



特に気になったのは、少子化対策と企業誘致だ。今の志賀町はもっと活気があっていい。これからの志賀町に勢いを出していくのは私たちであり、自分たちの町を変えていきたいと改めて感じた。

1組 堀野 楓さん



子どもの数が増えるように、仕事をしながら子育てができるという環境がすごく大事だと思う。多くの若い人たちが住んで良かったと思う町になってほしいし、そういう町づくりを私たちがしていかなければならないと思う。

1組 大石 真君



僕が気になったのは少子化問題だ。少子化、高齢社会など大きな問題は、将来大人になる僕にとっては寂しい現実だ。町の議会傍聴は、子どもに日本の現状を教え、未来を考えさせるとても良い機会だ。

議会を傍聴した高浜中3年生の意見

1組 間谷 仁美さん



隣で工事中の統合中も、この議会ですごく話合いをして決定されたのだから良かった。議員さんの思いや考えが伝わってきて、本当に町のことを考えているのだと思うと嬉しかった。

1組 樋口 優希さん



高校再編について、私は合併してどちらか1校にしたらいいと思う。私が通っている中学校も統合してなくなる。自分が通った学校が無くなるのは寂しいことだけど仕方がないことなのだと思う。

1組 牛崎 絢香さん



生徒や保護者、町の立場から意見を述べ、具体例などを挙げて質問していたので、とても聞きやすかったし、身近に感じた。町議員は町民のため、より良い町にしようとしてくれているのが分かった。



8月20日に行われた原子力防災訓練の様子

今後の防災訓練を見直してはいかがか

下池 外巳造 議員



問 今までの原子力発電所の放射能漏れ事故を想定した防災訓練を今後は原子力災害と地震災害、また原子力災害と武力攻撃、テロを想定した訓練に見直してはいかがか。

答 原子力災害と地震災害を組み合わせた訓練については、今後実施される県原子力防災訓練で、そのような想定で実施するよう県と調整することにも、町でも一般災害についても訓練実施に向けて検討したい。

武力攻撃、テロを想定した訓練は、現在本町で志賀町国民保護計画の作

町内企業を対象に子育て支援を働きかけよ

寺岡 真貴子 議員



保育体験で園児とプール遊びをする中学生

問 町内企業を対象に、子育て支援に対する意識啓発をはかるため、企業経営者や人事・労務管理者担当者を招いて、説明会・セミナーを行っては、子育て支援を行う企業を対象に、育児休業助成金を新設してはどうか。



前向きに検討したい

【答弁】細川町長

答 とりわけ中核工業団地を中心とする企業・事業主に対して、子育て支援策として啓蒙を図ることとは大変重要であり、前向きに検討したい。

問 縦割りの弊害を排除し、より簡素で効率的な組織へ改革すべきだ。係長制を廃止し、グループ制を導入してはどうか。部局を設置し、各課の連携を推進してはどうか。

グループ制の導入を検討中であり、21年度導入を目指す

【答弁】細川町長

問 保育体験など、子育てを理解する教育の推進について町長の考えは。

答 集中改革プランにおいて、グループ制の導入を検討中であり、21年の導入を目指す。各課の連携は2名の助役がそれぞれ部署を統括しており、部局制は、町の適正な職員・課数を考慮しても必要ないと考える。

より簡素で効率的な組織へ改革すべき

県との連携が弱くないか

問 10月の全日本学生釣り選手権大会能登半島大会は、県の支援事業の一環であり、能登4市を会場として開催される。こういったイベントにどうして本町も参画できないのか。県と市町との関係において、市レベルと町レベルで対応の差があるのではないか。

連携を密にしたい

【答弁】細川町長

答 主催の実行委員会が学生主導であることが大きな要因だと考えている。開催を強く要望していたので残念。3年継続開催の予定のため、次年度以降は本町も開催地となる予定である。観光行政については、県や広域観光協会と連携推進した方が誘客効果を見込めるので、今後連携を密にし、施策を展開したい。

新人事評価制度を本年12月から反映させる

【答弁】細川町長

職員の昇給・昇格、職員同士の結婚について今後の対応は

成を進めており、8月に防災関係者、各自衛隊も参加して、第1回の協議会を開催した。地理的特徴、志賀原子力発電所の立地等を踏まえた計画の方向付けを行っている。

問 単なる年功に縛られることなく、多方面から勤務能力、接遇など住民から信頼され、町民の公僕となる職員の育成の必要があるのではないか。また、職員同士の結婚に対しては、人事面や配置に難点があると考えられるがどうか。

答 新町として新しい人事評価制度を構築すべく、今年7月に新人事評価制度ワーキンググループを立ち上げ、現在は、最終案ができています。人事評価の結果は、本年12月の期末勤労手当の支給及び来年1月の昇給から反映させていく予定である。

答 職員同士の結婚については、結婚の自由は憲法で保障されているが、小規模自治体にとっては人事異動等に配慮しなければいけないこともあり、対応に苦慮する問題である。職員の自覚を待つしかないと思っている。



1組 松下 静さん

高校存続問題や防災訓練の質問でも、もっと安全になるようにと考えてくれ、別の視点からも考え意見していた。私たちが大人になる頃には、もっと良い志賀町になっていると思う。



1組 村田 敦樹君

志賀町でも原子力災害や洪水、地震などの災害が絶対起こらないとは言えない。町は訓練の積極的な実施、町民は訓練への積極的な参加を心がけていかなければならないと僕は考える。



2組 日下 恵利さん

もし、原子力発電所で火災が起きたら、志賀町民はどう避難したらよいか。そのことをしっかり確認するために、町民は防災訓練の参加を進んでしていかなければならないと私は思った。

議会を傍聴した高浜中3年生の意見



2組 坂本 奈都実さん

繰り返される質疑応答の中で、志賀町に対する想いが伝わってきた。男性だけでなく、女性の視点から見た意見もあり、親近感を持った。これからの志賀町のために、私ができることを探したい。



1組 米木 里菜さん

何より女性議員が本当にいたのには驚いた。見た目すごく若そうなのに、話し始めると一気に顔がキリッと変わってはきはきと話していた。何事もめりはりが大切だと思った。



2組 野村 理恵さん

将来、私が志賀町で暮らすなら、仕事をしていても子育てのできる環境を作ってほしい。例えば、夜仕事がある場合に、24時間体制で子どもを見てくれる施設だ。それなら安心して子育てができると思う。

議会を傍聴した高浜中3年生の意見

生活環境等対策特別委員会 原子力発電所対策特別委員会 合同視察

(10月1日～4日、鹿児島県薩摩川内市ほか)

委員会視察レポート

議会の2つの特別委員会では10月にそれぞれの付託目的に合った視察研修を合同で行ってまいりましたのでそのレポート結果を報告いたします。

薩摩川内市視察

今回は、定住促進制度と使用済核燃料税について学ぶため、薩摩川内市と同市内にある川内原子力発電所へ訪れ視察研修してきた。

川内市を含め1市4町4村が平成16年10月に合併し、新たに薩摩川内市として誕生した。また、電源立地町としての立場に立った住民福祉を第一に考え、町の進むべき道を見出す必要があり、全国に例のない法



薩摩川内市役所で使用済核燃料税の課税状況を確認する委員

定外普通税として使用済核燃料税を課税している薩摩川内市に課税についての経緯や手順、協議方法などを学んだ。

定住促進補助金制度

全国的に少子高齢化が進む中、当町も若者の定住促進や町民の人口増加を図り、豊かで住みよい町づくりを目指すため、定住促進補助金制度の効果や現状を研修した。

当町では平成20年度に、定住促進住宅地造成を開始する予定である。

薩摩川内市では、市外在住者の市内への定住を促進するため住宅購入者に最高100万円、また新幹線で鹿児島市まで13分という立地を生かし、新幹線通勤定期購入補助の定住促進補助金制度を行っている。

薩摩川内市は、17年国勢調査人口で10万3千人程度であり、10万人規模の市を維持するため、人口の流出に対する危機感から補助金制度が創設さ

れた。鹿児島中央駅で2回のチラシ配りも実施し、平成17年度実績は、36世帯92人で補助額900万円、平成18年度(8月までのデータ)29世帯78人、補助額660万円である。

使用済核燃料税

薩摩川内市では平成16年4月より法定外普通税として使用済核燃料税を課税している。

使用済核燃料税とは薩摩川内市が総務大臣の同意を得て独自に課税する法定外普通税であり、原子炉から取り出した使用済核燃料を発電所から搬出されるまでの間、構内貯蔵に対して課税する。税率は使用済核燃料1体当たり23万円であり、平成18年度当初予算で2億5千29万円、平成16年度からは、12億5千971万円の歳入を見込んでいる。

使用済核燃料税は、薩摩川内市が発電所との共生を掲げ課税し、他に新

潟県柏崎市が財源の確保、住民の不安解消、サイト内の保管を理由に法定外目的税として課税している。

当町では担当部局で作る「志賀町法定外新税検討ワーキンググループ」を立ち上げ検討している。使用済核燃料税については、平成20年度課税を目標と検討しているが、平成19年度から、旧志賀町分は交付税不交付団体となるので、国等の判断を踏まえて、検討しなければならぬのが現状である。

今回は、特に使用済核燃料税の課税方法や、課税に至るまでの経緯を勉強するため、薩摩川内市を視察したが、議長や当時の担当者らの熱っぽい説明には、一丸となって全国に例のない新たな税を課税してきた自負が感じられ、また、定住促進制度についても今後の当町にとって参考となるものであり、大変有意義な研修であった。

川内原子力発電所

九州電力川内原子力発電所1、2号機は加圧水型軽水炉(PWR)で出力はそれぞれ89万KWである。発電実績は累計で1号機82・5%、2号機83・5%、総合83・0%とほぼ定期検査以外は止まっていない状況である。現在、九州管内の電力の需要の伸びに伴い、150万KWクラスの3号機の増

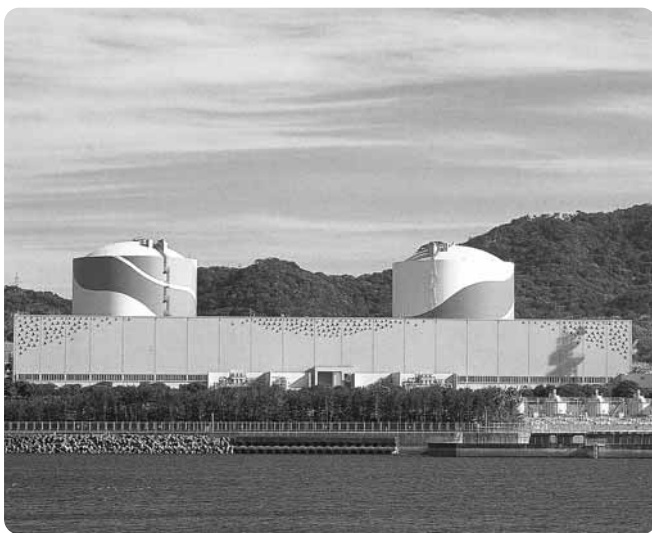
設計画があり、環境影響調査を行っているところであった。

また、玄海原子力発電所3号機に使用するMOX燃料の供給契約を三菱重工業と結んだとの説明も受けた。

PR施設で発電所の概要説明を受け構内を見学し、タービン建屋、中央制御室、構内各施設などを見学した。



川内原子力発電所の設備状況等を確認する委員



川内原子力発電所

世界自然遺産・屋久島

世界自然遺産として、人と自然の共生に取り組んでいる鹿児島県屋久島を視察し、環境保全状況や今後の課題などを調査し、当町の観光施策、環境問題等の参考とした。

まず、「屋久島環境文化村構想」を推進するための拠点施設である屋久島環境文化村センター、屋久町立屋久杉自然館、屋久杉やツガなどの原生林がうっそうと茂るヤクスギランドを訪れ、巨木

「千年杉」などを見て回ったほか千尋の滝を視察した。

「二月に35日雨が降る」と言われるほど多雨で、山岳地の年間降水量は、8千〜1万ミリにも達する。約2千メートルの標高差により、海岸周辺の亜熱帯から山頂付近の冷温帯までの気候を併せ持ち、それぞれの気候に適応した多様な植物の垂直分布が見られる。

こうした自然環境の特性から、93年屋久島は、

日本初の世界遺産に登録され、それ以降、観光客も急増し、04年度の同島への入り込み客数は、約29万3千800人、93年度は約21万人であり、年間約8万人増えた。このうち約6割は観光客と見られるとのことだった。

観光客の増大とともに、事故、環境汚染、植生への悪影響等が今後の課題であると感じた。



屋久町立屋久杉自然館で自然環境等の説明を聞く委員

第17回富来を描く美術展「鳴瀬賞」の作者に聞く!!



作品名「晩秋の午後（富来領家町）」



小堀 浩さん(七尾市)

絵は、定年になって都会から古里に転居してから始めました。
4回目の出品で、このような賞をいただき大変うれしく思っております。
これからも楽しみながら続けたいと思います。

芸術文化の振興を願い、美しい能登金剛の自然をはじめ、夢などを描いていただく公募展を毎年開催しています。
昨年の11月には第17回の審査が行われ、次の方が、鳴瀬賞に選ばれましたので、作者の感想を交え、ご紹介させていただきます。

私たちの議会傍聴記

9月8日の第3回志賀町議会定例会に議会傍聴をしてくれた高浜中3年生77人のうち、23人の意見・感想を掲載します。(6頁から11頁にも掲載)



2組 山下あゆみさん

志賀町を支える人々に感謝

私たちが普段学校へ行き、勉強しているときにこの議会では私たちに身近な問題を話し合ってきたんだと知ることができた。



1組 嘉治美里さん

大人になったら政治に関心を持ちたい

こんなに真剣に志賀町のことを考えている人々がいて、私たちは豊かに暮らすことができているのだから、感謝しなければいけないと思った。



1組 小蔵真綾さん

議会があつてこそ安心した暮らし

議会傍聴をして思ったことは、議員の人たちが

志賀町民として、町の未来について私たちもしっかりと考えなければいけないと思った。
議会の内容は私たちに分からない難しい話をするのだと思っていた。しかし、私の思いとは違い、とても身近な問題について話されていたので驚いた。



1組 平野菜々子さん

町民として町の未来を考えたい

改善の策となるものをちゃんと考えてくれているのだなということだ。
今、志賀町に必要なものは、大切なものはと考えてくれていてとてもうれしかった。



2組 山科奈央さん

ずっと志賀町に住んでいたい

自分の考えと今の日本の出来事を織り交ぜながら、質問へと結びつけているということがすごいと思った。
どの議員さんも真剣で、本当に志賀町のことを考えてくれているのだなと思った。すぐうれしかったし、このままずっと、志賀町に住んでいたいと思えるような議会傍聴だった。

議会があつてこそ、町が安定し、安心した暮らしができるのだと思った。